

まんのう町



まんのう町

議会だより

12月定例会の報告他

2012

No.2

平成24年
2月1日発行



仲南地区町民バレーボール大会

も
く
じ

- 表紙 目次..... 1P
- 議長日誌・議会日誌..... 2P
- 議案採決結果..... 3P
- 議案紹介..... 4～6P
- 一般質問..... 7～10P
- 議会を見に来ませんか..... 11P
- 議員研修会報告..... 12～13P
- 議会報告会アンケート結果..... 14P
- 満濃中学校改築情報..... 15P
- 編集後記..... 16P



発行責任者 まんのう町議会議長 大岡克三

編集 まんのう町議会広報特別委員会

住所 香川県仲多度郡まんのう町吉野下430

電話 0877-73-0109 FAX 0877-73-0114

mail gikai@town.manno.lg.jp

議長日誌

- | | | | |
|------------------|---|--------|--|
| 10月 3日 | 県道丸亀三好線改良推進協議会陳情
徳島県庁、香川県庁 | 11月 4日 | 県政促進に関する要望
知事への要望…県庁本館
県議会議長等への要望…県議会議事堂 |
| 10月26日 | 第5回 全国水源の里シンポジウム
大分県 佐伯市 | 11月10日 | 第52回 四国地区町村議会議長会研修会
徳島県 鳴門市 |
| 10月27日 | 香川県町議会議員研修会
香川県自治会館 | 11月16日 | 第55回 町村議会議長全国大会
東京都渋谷区 NHKホール |
| 10月31日
~11月1日 | 中讃広域行政事務組合3町議員研修視察
熊本県 山鹿・植木広域行政事務組合
佐賀県 杵藤地区広域市町村圏組合
●一般廃棄物処理施設の維持管理の現況調査 | 11月17日 | 香川県町村議会議長会研修
東京都千代田区 全国町村議員会館 |

議会日誌

10月

- 4(火) 交通対策特別委員会
- 4(火) 平成23年第2回仲多度南部
消防組合議会定例会
- 5(水) 水資源対策特別委員会
- 11(火) 政策充実特別委員会
- 11(火) 建設経済常任委員会
- 13(木) 議会広報特別委員会
- 17(月)~19(水) 建設経済常任委員会視察研修
- 20(木) 満濃中学校改築・調査特別委員会
- 27(木) 香川県町議会議員研修
- 28(金) 議会運営委員会

11月

- 6(日) 議会報告会
- 7(月) 議会広報特別委員会
- 7(月) 議会運営委員会
- 8(火) 平成23年第6回臨時会
- 9(水)~11(金) 総務常任委員会視察研修
- 14(月) 議会広報特別委員会
- 14(月)~16(水) 教育民生常任委員会視察研修
- 18(金) 建設経済常任委員会
- 21(月) 教育民生常任委員会
- 22(火) 総務常任委員会
- 25(金) 議会運営委員会

- 25(金) 平成23年中讃広域行政事務
組合議会11月定例会
- 28(月) 平成23年第7回臨時会
- 28(月) 平成23年第3回仲多度南部
消防組合議会臨時会
- 28(月) 平成23年第3回香川県後期
高齢者医療広域連合議会定例会

12月

- 2(金) 議会運営委員会
- 5(月) 満濃中学校改築・調査特別委員会
- 7(水) 平成23年第4回定例会(初日)
- 8(木) 平成23年第4回定例会(2日目)
- 9(金) 教育民生常任委員会
- 12(月) 建設経済常任委員会
- 13(火) 議会広報特別委員会
- 13(火) 満濃中学校改築・調査特別委員会
- 14(水) 総務常任委員会
- 15(木) 議会運営委員会
- 16(金) 平成23年第4回定例会(最終日)
- 21(水) 平成23年第3回仲多度南部
消防組合議会定例会
- 23(金) 教育民生常任委員会
- 27(火) 仲善シルバー第3回理事・監事
合同役員会

議案採決結果

議案名等	議員名			議席番号	16	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	賛成	反対	議決結果	大岡 克三	川西 米希子	田岡 秀俊	合田 正夫	白川 正樹	本屋敷 崇	関 洋三	白川 年男	白川 皆男	大西 樹	藤田 昌大	三好 勝利	大西 豊	川原 茂行	高木 堅	谷森 哲雄	
平成23年 第6回臨時会(11月8日)																				
議案第1号	まんのう町官民連携事業に関する個別外部監査契約に基づく監査によることについて			15	0	可	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	まんのう町官民連携事業に関する個別外部監査契約の締結について			15	0	可	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年 第7回臨時会(11月28日)																				
議案第1号	まんのう町職員の給与に関する条例等の一部改正について			13	1	可	/	○	○	○	—	○	○	○	○	×	○	○	○	○
平成23年 12月定例会(12月7日～16日)																				
議案第1号	まんのう町安心安全生活ネットワーク基金条例の制定について			15	0	可	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	まんのう町長期継続契約を締結することができる契約に関する条例の一部改正について			13	2	可	/	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
議案第3号	まんのう町琴南地区特定施設に関する基金条例の一部改正について			15	0	可	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	香川県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び香川県市町総合事務組合規約の一部変更について			15	0	可	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	香川県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に伴う財産処分について			15	0	可	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	中讃広域行政事務組合規約の一部変更について			15	0	可	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	平成23年度まんのう町一般会計補正予算(案)第3号			15	0	可	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	平成23年度まんのう町国民健康保険特別会計補正予算(案)第2号			15	0	可	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	平成23年度まんのう町介護保険特別会計補正予算(案)第1号			15	0	可	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	平成23年度まんのう町診療所特別会計補正予算(案)第2号			15	0	可	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	平成23年度まんのう町簡易水道特別会計補正予算(案)第1号			15	0	可	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	平成23年度まんのう町水道事業会計補正予算(案)第1号			15	0	可	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について			15	0	同	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委第1号	議案第10号 平成23年度まんのう町診療所特別会計補正予算第2号に対する付帯決議について			15	0	可	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書第1号	農業用軽油に係る軽油引取税の免税措置の恒久化等を求める意見書(案)			15	0	可	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書第2号	国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書(案)			15	0	継	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※可…可決 同…同意 認…認定 選…選出 継…継続審査 ○…賛成 ×…反対 —…欠席
 ※議長は可否同数の場合にのみ表決権を有します。〈議長 議席番号16番〉

議案紹介

平成23年第6回臨時会

議案第1号 まんのう町官民連携事業に関する個別外部監査契約に基づく監査によることについて

第三者による監視が必要であると考え、官民連携事業に関する個別外部監査契約に基づく監査を実施することについて議会の議決を求めました。

【即決】

本会議審議結果 全会一致可決

議案第2号 まんのう町官民連携事業に関する個別外部監査契約の締結について

適切に監査を行える監査人であると認めた契約候補者の三和会計事務所 税理士 米田守宏氏グループとの監査契約締結について、議会の議決を求めました。

【即決】

本会議審議結果 全会一致可決

平成23年第7回臨時会

議案第1号 まんのう町職員の給与に関する条例等の一部改正について

人事院勧告の趣旨を尊重し、中高年の40歳以上を想定した給料表を最大0.5%、平均で0.23%の減額改定を行います。この減額改定対象者は、併せて給与及び手当等と6月特別給も含め、期末手当において0.37%の減額調整を4月に遡及して実施します。また、給与構造改革に伴う保障給制度の適用を受けている職員の給与率についても99.1%に減額改定を行います。

【即決】

【反対討論】 藤田 議員

一般的な実施についてはやむをえないが、わが町の財政事情、不利益不遡及の原則、また職員の労働意欲の面からも反対せざるを得ない。

【賛成討論】 本屋敷 議員

町の財政状況、民間との格差を是正する人事院勧告の意義から考えても当然である。また、職員の労働意欲の面では、給与体制の抜本的な見直しが必要。

本会議審議結果 賛成多数可決

平成23年12月定例会

議案第1号 まんのう町安心安全生活ネットワーク基金条例の制定について

生活の安心や安全を確保する住民の自主的な地域活動を、町の施策としてより一層推進するために、政府の交付金や地方債等で調達する資金を基金化して、年度間調整を柔軟にすることで、時限立法の5年間を安定供給するものです。

【教育民生常任委員会付託】

委員会審議結果 全会一致可決

本会議審議結果 全会一致可決

議案第2号 まんのう町長期継続契約を締結することができる契約に関する条例の一部改正について

本則第2条の長期継続契約を締結することができる契約に新たに「複写機その他の事務機器の借り入れで、当該物品に係る役務の提供が含まれる契約」項目を追加改正するものです。

【即決】

【反対討論】 藤田 議員

現在の経済情勢の中で提案も理解はで

きますがグローバル化による弱者および地方経済の切り捨ての面からも一極集中になるので反対せざるを得ない。

【賛成討論】 本屋敷 議員

長期、一括契約を行うことで、年間1100万円の削減効果があり、町の独自財源を確保するためには必要な事である。

本会議審議結果 賛成多数可決

議案第3号 まんのう町琴南地区特定施設に関する基金条例の一部改正について

本則第2条の対象施設2件の内の「まんのう町福祉施設美霞洞温泉」が本年6月定例議会において設置及び管理条例が廃止となったことから、当該条項より削除するものです。

【総務常任委員会付託】

委員会審議結果 全会一致可決

本会議審議結果 全会一致可決

議案第4号 香川県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び香川県市町総合事務組合規約の一部変更について

さぬき市・三木町県行造林組合から、

平成24年3月31日をもって、香川県市町総合事務組合から脱退することについて協議があったため、地方自治法286条第1項の規定により、一部事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び一部事務組合の規約の変更に係る関係地方公共団体の協議が必要となり、議会の議決を求めたものです。

【即決】

本会議審議結果 全会一致可決

議案第5号 香川県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に伴う財産処分について

さぬき市・三木町県行造林組合が、平成24年3月31日をもって香川県市町総合事務組合から脱退することに伴い、地方自治法289条の規定により、香川県市町総合事務組合財産の処分に係る関係地方公共団体の協議が必要となり、議会の議決を求めたものです。

【即決】

本会議審議結果 全会一致可決

議案第6号 中讃広域行政事務組合規約の一部変更について

本則第3条の共同処理する事務の内、第2号の「老人福祉法第20条の5に規定

する特別養護老人ホーム及び介護保険法第48条第1項第1号に規定する指定介護老人福祉施設等における福祉サービスの充実を図るための技術支援等に関する事務」を廃止するため、規約から関係する規定を削除するものです。

【即決】

本会議審議結果 全会一致可決

議案第7号 平成23年度まんのう町一般会計補正予算(案)第3号

歳入歳出それぞれ2億4354万9千円を追加し、歳入歳出の総額を歳入歳出それぞれ93億2902万7千円とするものです。

【総務常任委員会付託】

委員会審議結果 全会一致可決

本会議審議結果 全会一致可決

議案第8号 平成23年度まんのう町国民健康保険特別会計補正予算(案)第2号

事業勘定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億797万4千円を追加し、歳入歳出の総額を歳入歳出それぞれ24億3060万1千円とするものです。

【教育民生常任委員会付託】

委員会審議結果 全会一致可決
本会議審議結果 全会一致可決

議案第9号 平成23年度まんのう町介護保険特別会計補正予算(案)第1号

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ352万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ21億1742万6千円とするものです。

【教育民生常任委員会付託】

委員会審議結果 全会一致可決

本会議審議結果 全会一致可決

議案第10号 平成23年度まんのう町診療所特別会計補正予算(案)第2号

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1545万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億374万8千円とするものです。

【教育民生常任委員会付託】

委員会審議結果 全会一致可決

本会議審議結果 全会一致可決

議案第11号 平成23年度まんのう町簡易水道特別会計補正予算(案)第1号

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ351万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億4471万円とするものです。

【建設経済常任委員会付託】

委員会審議結果 全会一致可決

本会議審議結果 全会一致可決

議案第12号 平成23年度まんのう町水道事業会計補正予算(案)第1号

水道事業収益の営業収益で359万1千円、水道事業費用の営業費用で125万5千円をそれぞれ増額補正するものです。

【建設経済常任委員会付託】

委員会審議結果 全会一致可決

本会議審議結果 全会一致可決

諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について

琴南地区 森本直樹氏が平成24年3月31日をもって任期満了となりますことから、人権擁護委員法6条第3項の規定に基づき、引き続き同氏を人権擁護委員に推薦するものであります。

【即決】

本会議審議結果 全会一致同意

発委第1号 議案第10号 平成23年度まんのう町診療所特別会計補正予算第2号に対する付帯決議について

今、議会で可決された、平成23年度

まんのう町診療所特別会計 補正予算第2号は、当町の僻地診療を補う上で重要な役割を果たしている。しかしながら、この事件にかかる補正予算は、十分に納得のいくものであるとはいえない。当町の診療所は利益を追求するものではなく、地域医療に根ざしたものでなければならぬ。よって、今後の診療所の経営としては、地域住民、当町保険会計への負担も鑑み、医師ならびに町当局で十分に意見調整を行い、まんのう町の目指すべき地域医療、僻地診療所としての経営改善を求める。

記

- 1 今後の運営は、医師及び町当局で緊密に連携をとる事。
- 2 議会に対し診療状況を逐次報告する事。

【即決】

本会議審議結果 全会一致可決

※発委とは

委員会から提出された議案。

※付帯決議とは

予算執行において、議会として条件を付して決議したもの。

意見書第1号 農業用軽油に係る軽油引取税の免税措置の恒久化等を求める意見書(案)

昭和31年に地方税の道路目的税として創設された軽油引取税は、道路使用に直接関係を有していない等の理由により、農業における燃油等には免税措置が講じられていたが、平成21年度の税制改正により、従来の目的税から普通税に移行され、免税措置は今年度末をもって廃止されることとなっている。

加えて、農業用A重油に係る石油炭炭税の免税・還付措置についても、同様に今年度末で終了することとなっており、これらが廃止されると、ただでさえ経営規模が零細で、近年の資機材の高騰による生産コストの上昇や生産物の価格低迷などによって厳しい経営環境にある農業者に大きな打撃を与えることは必至である。

その上、今後検討されている、地球温暖化対策のための税、いわゆる地球温暖

化対策税が新たに賦課されると、農業者に、さらなる負担増を強いることとなり、ひいては、地域経済全体に重大な影響を及ぼすことが懸念されるところである。

よって、国会及び国においては、農業の振興はもとより、食料自給率の向上、地産地消や食育の観点から、下記のとおり、燃油税制に係る特別措置をとられるよう強く要望する。

【建設経済常任委員会付託】

委員会審議結果 全会一致可決
本会議審議結果 全会一致可決

意見書第2号 国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書(案)

国民健康保険の主な財源は、国、都道府県及び保険者の負担金及び被保険者の支払う保険料から成り立っている。

昨今の経済状況の悪化により、国民健康保険加入者の所得は急速に低下しているにもかかわらず、保険料が引き上げられ、支払が困難となっている世帯が増え続けている。

保険料滞納者は増加し、資格証明書や短期証の交付が増えている。資格証を交付された人たちは、事実上の無保険状態と言える。保険料が負担することができないのに、医療費を全額支払える道理が

ない。このため、病気になっても我慢し、救急で運び込まれた時には手遅れ、という事例も起きている。国民健康保険は、社会保障として、国民皆保険制度を支える制度である。「払いたくても払えない」高い保険料を引き下げることが求められている。

保険料が高くなった最大の原因は、国が国庫負担率を引き下げたことである。1984年までは、「かかった医療費の45%」が国庫負担だったものが、それ以降、38.5%に引き下げられた。その他にも、市町村国民健康保険の事務負担金の国庫補助が廃止され、助産費補助金も改悪されるなど、市町村国民健康保険の総収入に占める国庫負担金の割合は、現在3割にまで減らされている。

高すぎる国民健康保険料を引き下げるべきである。国庫負担率を1984年以前の水準に戻すことは喫緊の課題となっている。

よって、国におかれては、国民健康保険を真に社会保障として存続させるため、国庫負担を増額されるよう、強く要望する。

【教育民生常任委員会付託】

委員会審議結果 全会一致継続審査
本会議審議結果 全会一致継続審査

議員が町の考えを問う

一般質問

12月定例会の一般質問において9名の議員が質問に立ちました。

関 洋三 議員

- ① まんのう町ツーリズム協会の行く末について
- ② 見守り、声かけ、ほっと安心事業の展開について
- ③ 満濃中学校教育の危機挽回について

川西 米希子 議員

- ① ワクチン接種の公費助成について

川原 茂行 議員

- ① ほ場整備の状況について
- ② まんのう町議会における中讃テレビの放映について

本屋敷 崇 議員

- ① 人的資源の育成について

三好 勝利 議員

- ① 急増している高齢者の生涯健康対策について、高齢者の働き場所を提供する考えはどうか。

藤田 昌大 議員

- ① 定住自立圏構想について

谷森 哲雄 議員

- ① 介護保険法「改正案」と私達の暮らしについて

白川 正樹 議員

- ① 町ゆかりの有名人を、広く町民に知ってもらうことについて

田岡 秀俊 議員

- ① 新聞、図書館を活用し文化的学校教育の充実を！

(※通告順による)

一般質問とは？

一般質問とは、議員がその町村の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

一般質問は、定例会にのみ許されます。

一般質問は、議会にあげられた議題とは関係なく行政全般にわたる議員主導による質問のため議会、執行部とも時間をかける必要があるため事前に質問を通告します。

質問事項は、明瞭簡潔で行政の政治姿勢を正すものである事が望ましいとされています。

まんのう町議会の一般質問

一般質問は、各議会で形式が変わります。まんのう町も、傍聴に来ていただいた方にわかりやすい形式を定めています。

- 年4回の定例会で質問可能。
- 質問できる議題は、3問まで。
- 質問できる回数は、1議題につき3回まで。
- 質問方法は、原則一問一答。
- 30分を超えての質問は不可。(執行部答弁は含まない)
- 執行部に反問権を与えている。

議会では、さらにわかりやすい議会を目指して議会運営委員会にて協議をしています。もっと一般質問の形式等で、こうして欲しいなどの意見をお待ちしております。

一般質問

Q まんのうツーリズム協会の今後について他

A 法人化に取り組む中で改めて協議

関 洋三 議員



問 ①3年前に観光協会として町が推進して設立した「まんのうツーリズム協会」を今後どのように位置づけて財政支援を行うのかをお尋ねします。

答 法人化に取り組む中で、町施設の管理、業務委託など改めて協議していきたいと考えております。

②福祉委員の役割は「声かけ」と「見守り」です。これに、ご近所の関わりが加われば、異変に対応でき、災害時の安否確認は容易となります。当事業の「安心安全生活ネットワーク基金条例」は、これを今後5年間継続できるように、資金を供給して、町が背後支援するものです。

③第一に、町民ぐるみで子どもを育てるための共通の指針「まんのうつ子よい子の約束」を作成し、保幼小で生活指導を行っています。第二に、生徒指導の方針・基準の明確化・具体化を図り、共通理解・共通実践に努めています。第三に、教員が楽しく分かる授業を展開するよう努めています。

④満濃中学校教育の授業内容をどのよう把握をしていますか、それに伴う今後の対応策をお知らせ下さい。

答 ①事務局体制として、町とは別の団体として独立した事務所、専任スタッフの配置が理想であり、今後町施設の整備状況や財政状況も踏まえ協会と相談していきます。法人化については、当初から計画していましたが、まず組織の充実が一番だと考えていますので、

一般質問

Q ワクチン接種の公費助成について

A より多く接種できるように再度、周知に努めたい

川西 米希子 議員



問 「防げる病気で命を失わない」これは全ての人の願いです。

任意接種であるが、現在期限付きでの公費助成が行われている4ワクチンについて公費助成継続の必要性を痛感します。

①高齢者用肺炎球菌
②小児用肺炎球菌
③ヒブ
④子宮頸がん

の24年度からの公費助成の継続についてはどのようにお考えでしょうか。

答 高齢者肺炎球菌、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンは、予防接種法によらない任意接種のワクチンで、公費助成は行われない種類のワクチンですが、本年度は、高齢者肺炎球菌ワクチンは交付金事業で、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンは国の補助事業で、接種費用の

全額を公費助成で、実施しています。高齢者肺炎球菌ワクチンは、接種後5年間は、再接種ができないことから単年度の実施で、次年度以降の公費助成は行わないこととしております。なお、今回事業の主旨をご理解いただきより多くの住民に接種いただけるよう再度、周知に努めたいと考えております。子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンについては、厚生労働大臣が事業継続との発言をしており、公費助成が継続するとは考えておりますが、接種率からも住民ニーズの高さが示されていることから、国の補助事業が終了した場合でも、町単独で、事業を継続します。

一般質問

Q 満濃地区にほ場整備の実施を

A 事業着工に向けての説明、事業認可申請の準備中

川原 茂行 議員



問 本事業の実施は、私の議員活動の最大の目標であり使命であると毎回の議会で強く要望をしておりますが、今年度については度重なる台風の接近による被災状況の確認などとなり、ほ場整備の推進が出来ていないのが現状であります。先に各地域より県宮中山間地域総合整備事業の第二期工事として沢山の要望を頂いており、これらの新規地区のほ場整備工事はじめとして、ため池改修、農道整備、農業用排水施設整備事業、農業集落道整備、防火水槽などの事業着工に向けての事業説明事業認可申請の準備がなされているところあります。この事業は、平成24年度に着工し6年間の工期をかけて、町内各地において、ほ場整備をはじめとして、ため池改修など合わせて44箇所、事業費で約15億円を予定して事業を進めていく予定となっておりますが、ほ場整備事業についても根気強く進めていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

答 ほ場整備の必要性については、東北大地震の発生、又原子力発電所の事故などによる東北地方の農地への影響、又今後いつ起きても不思議でないとされる東南海、南海地震による影響などを考えると農地の確保、整備については大変必要なことだと思われま。先に、国営事業の聞き取りに協力頂いた地区で、ほ場整備の実施に意向が有ると思われる地域については、再度、事業の可能性について、お問い合わせします。

一般質問

Q

「職員」「学生」「町民」の
人材の育成について

A 本年4月より、人事
評価制度を試行実施

本屋敷 崇 議員



問 町内の人材育成は、人

口減少を抱える末端自治体
において大きな問題である。
そこで、「職員」「学生」「町
民」の人材育成においてど
のような施策を考えている
のかを質問する。

私としては、「職員」にお
いては、民間等との対外的
な交流による人材育成。「学
生」においては、月2回の
土曜日授業の復活。「町民」
においては、各種団体の抜
本的の見直し等が必要と考
えるが、執行部としてはい
かに考えているかを教えて
いただきたい。

答 「行政職員の人材育成

について」は、町職員を行
政運営のための最大の資源
ととらえ、その育成を最優
先・最重要課題と位置付け
て、香川県市町職員研修セ
ンターの主催する能力開発
研修コースへの受講を義務
付けているほか、町独自で

一般質問

Q

高齢者の生涯健康
対策について

A シルバー人材センター
への支援と活用を推進

三好 勝利 議員



問 急増している高齢者の

生涯健康対策として、閉じ
こもりを無くし、医療と介
護費の抑制のために、安価
な土地を生かして、新たに
軽作業事業所などの働き場
所を設ける考えはどうか。
思い切った対応を期待する。

答 高齢者の働き場所の提

供については、町内の多く
の高年齢者が加入している
仲善シルバー人材センター
を活用し、町の施設管理、
草刈等の業務委託を行って
います。今後もシルバー人
材センターへの支援と活用
を推進します。

農業部門では、集落営農組
織で長年の経験、知恵など
を生かした活動や、農作業
の補助的軽作業など、日常
の担い手として高齢者が位
置付けされている事例もあ
ります。また、高齢者の生
涯学習の場として、高齢者
学級を開催しており、「生

一般質問

Q

定住自立圏構想に
ついて

A 1市3町と協定の締結に
向けた協議を進めている

藤田 昌大 議員



問 8月に全協で示された

丸亀市が中心都市宣言をし、
周辺2市3町による定住自
立圏構想の提案がされたが、
現状の報告をお願いします。
現在ある中讃広域事務組合
との複合事務があるが新た
に出された目的について説
明願います。また、実施に至
るまでに定住自立圏形成協
定およびビジョンの策定が
必要とありますが今後の具
体的な日程と職員と住民対
応はどうするのか。

財政については特別交付税
措置となっており、中心市
4千万、その他1千万の予
算とありますが、具体的な
予算措置と、議会としての
予算チェック機能はどの時
点で行うのか説明ください。

答 現在、中心市である丸
亀市と周辺市町である本町
のほか、善通寺市、琴平町及
び多度津町の1市3町と定
住自立圏形成協定の締結に

向けた協議を進めている。

次に、中讃広域行政事務組
合において共同処理するこ
み処理やし尿処理などは、
圏域内で効率的に処理する
重要な施策であり、できる
限り定住自立圏構想に盛り
込むこととしている。今後の
日程については、各市町議
会の意見やパブリックコメ
ント手続きによる意見等を
踏まえ、年度内に議会の議
決を経て定住自立圏形成協
定を締結し、平成24年度中
の定住自立圏共生ビジョン
策定を予定している。次に、
包括的財政措置として特別
交付税で年間1千万円が措
置されるが、定住自立圏形
成共生ビジョンに基づき実
施する事業に充当されるも
のであり、共生ビジョン策
定とともに具体化するもの
と判断する。今後とも必要
に応じ議会に対し報告した
い。



「健康ウォーキング」は、健康づく
りを目的に歩くことをいい、まんの
う老連仲南支部では「健康ウォーキ
ングで今日も笑顔」をスローガンに
毎月2回実施しています。

一般質問

Q 介護保険法「改正案」と私たちの暮らし

A 現行の給付水準は維持できるものと考え



谷森 哲雄 副議長

問 介護保険法「改正」24年度より実施と聞いておりますが、この改正案は、訪問・通所介護の要支援1・2の場合、保険給付外の「総合事業」に移すことができる仕組みとなります。

この総合事業を実施した場合、要支援者は保険給付の対象外—介護保険料を払いながら全国一律の基準に基ずく保険給付の対象外となります。お年寄りを大切にしようという心が薄れていきます。本町は総合事業を実施するのか、しないのかお尋ねします。

ない方に給付し、ボランティアなど社会参加と地域貢献の機会を提供することで、地域の相互扶助を育成し、生活支援の拡大を図ることが目的です。また、地域特性を反映させて、応分の負担を求めることとなります。

本町の介護予防につながる社会参加は、近隣に類を見ない高い水準にあり、現行の給付水準は維持できるものと考えています。

答 この事業は、多様な人材や社会資源を活用して、要支援者や第二次予防対象者に、介護予防、配食、見守りなどの生活支援サービスを、有償で市町村が独自に行えることです。内容は「要支援」と「非該当」を往來する方や介護認定され



一般質問

Q 町ゆかりの有名人を町民に知ってもらうことについて

A まんのうツーリズム協会ホームページの活用を検討



白川 正樹 議員

問 まんのう町で生まれた「山のけむり」の曲を当地で聞けるようにならないか？

今のままでは再訪者が殆どいない「二宮忠八飛行館」の半分の空間を利用し町ゆかりの有名人名・偉人・賢人を知ってもらうことにより、郷土の歴史教育や町おこしに広く利用して心豊かな人材を育てるために利用してはどうか？

協会に検討いただくようお願いしていきます。

また、議員が言われています野口ダム湖畔に建つ東屋に当地にゆかりがある作曲家の曲がオルゴールで過去に流れていた件は調査を行ってみます。また、道の駅等の公共施設を活用して本町の偉人、賢人を知っていただくことは地域活性化にもつながるものと思いますが、スペースの問題も勘案しながら検討させていただきます。

答 町ゆかりの有名人名は、その地域から輩出した文化教育の縮図でもあると考えます。観光振興の面からも、まんのう町ゆかりの偉人、賢人を、町内外に広く紹介することで、その人物を通じていただくことができるのではないかと思います。

その手法の一つとして、まんのうツーリズム協会が開設しているホームページの活用が考えられますので、



一般質問

Q 新聞、図書館を活用し文化的学校教育の充実を！

A 学校図書館が毎日使用できるような環境に



田岡 秀俊 議員

問 平成25年度に町立満濃中学校及び図書館複合施設がオープンするが、「仏作って魂入れず」になつてはいけない。今、注目されているNIE(教育に新聞を)と新設図書館を子供たちの教育に最大限活用すべきであると考え、小中学校におけるNIEの取り組みの現状と今後の方針を、そして図書館運営会社「リブネット・宮脇」との協議内容、学校司書・司書教諭の育成等ソフト面の計画ほか新設図書館の活用方針を示していただきたい。

多くの町民に図書館を利用してもらい、町民に図書館に興味を持ってもらうために、図書カードのデザイン募集を行う予定にしています。開館時の蔵書数を4万冊と計画していますが、その選書に関しては「選書ツアー」を計画しております。読書好きの子どもを育てるためには、学校図書館が毎日使用できるような環境にすることが大切であり、そのために、町立図書館と一体感を持たせたレイアウトにしています。iPadを10台程度用意し、電子書籍やインターネットを通しての利用ができるようにしていきます。運営事業者は学校図書館の運営においても実績があり、そのノウハウを最大限に活かして、図書館の利用度を高めていきます。

新聞は子どもの言語活動を充実させていく上で極めて重要な役割を果たすものであり、今後、町内の他の小・中学校においても教科書だけでなく、授業の中で新聞を積極的に活用する取組を実践するよう指導します。

議会を見に来ませんか？

本町議会では、定例会が3月、6月、9月、12月の年4回（臨時会は随時）開催され、本会議は通常午前9時30分に開会します。

会議の当日、手続きをすれば、どなたでも傍聴できます。

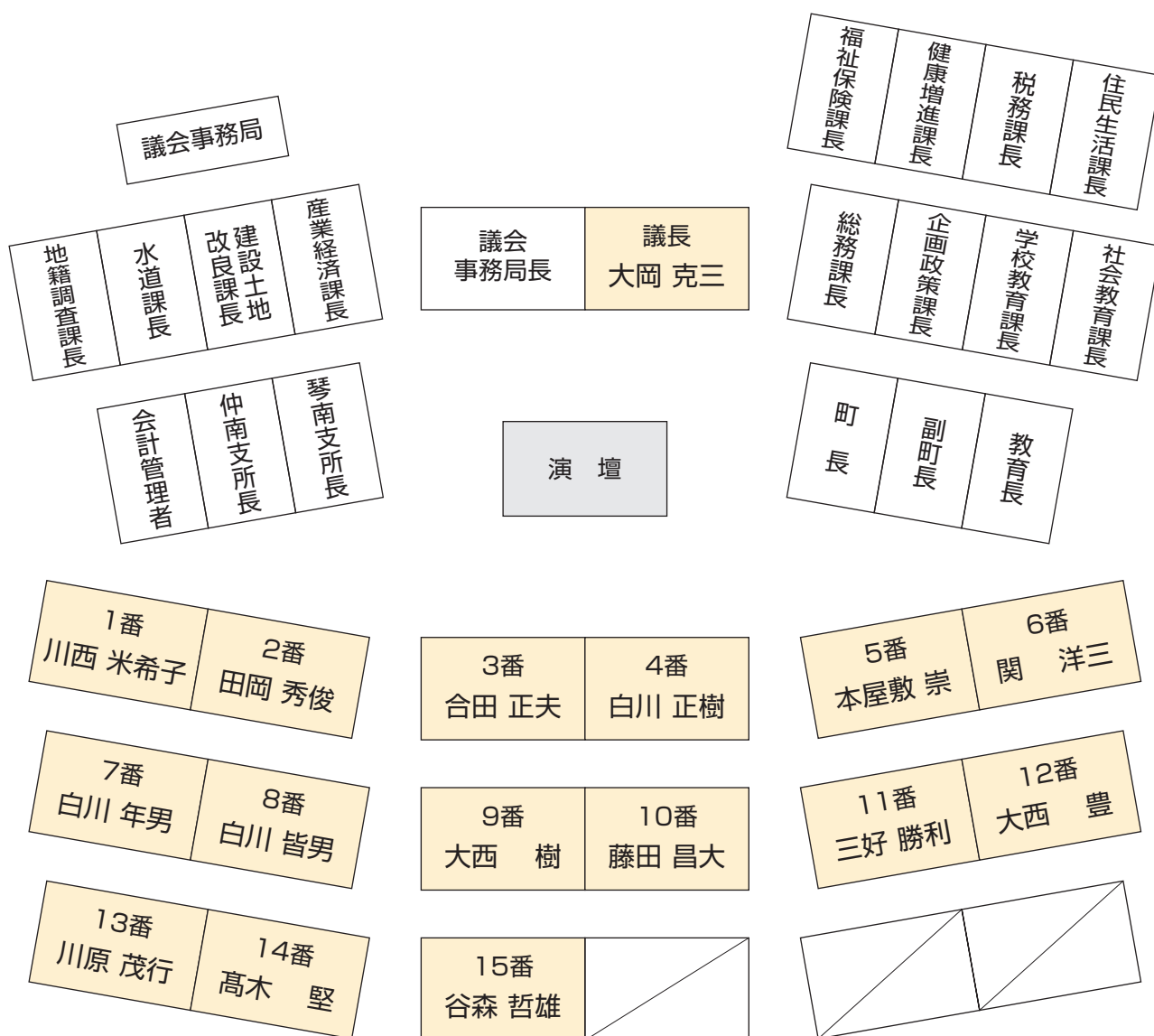
詳しくは議会事務局へ ☎0877-73-0109



本会議の傍聴席

ご案内 次回の定例会は**3月上旬**に開会予定です。

議席配置図



※席次番号は当選回数による。

傍聴席

議会の研修

まんのう町議会では、年に1度、議員の資質向上のために香川県町村議会の主催による議員研修会への参加、および各常任委員会による視察研修を行っています。その研修内容を報告します。

香川県町議会議員研修会報告

- 日時 平成23年10月27日
- 場所 香川県自治会館7F大会議室
- 目的 これからの地方自治に対応した議会の活性化を図るため

去る10月27日、香川県自治会館において、平成23年度の町議会議員研修が開催され、わがまんのう町議会からも15名の議員が出席いたしました。

まず、帝京大学教授・自治大学校客員教授の内貴滋先生より、「世界に誇る日本の町村と地域の人々―個性と活力の地域づくり―」と題して、「一村一品運動」等に取り組んだ活動を通して「主役は住民である」という住民自治の考え方を学びました。

次に、読売新聞東京本社編集委員の青山彰久先生より、「地方自治のみらい」と題して、地方分権改革以降のさまざまな地方自



治の動きから、最近のTPP、FTA、EPAに至るまで解りやすく解説していただきました。

教育民生常任委員会視察研修報告

- 日時 平成23年11月14日～16日
- 場所 長野県茅野市、公益財団法人身体教育医学研究所
- 目的 医療費の削減に関する取組みについて

茅野市は、市民・民間主導・行政支援による公民協働の「パートナーシップのまちづくり」により、自立した市民一人ひとりがまちづくり主役となり政策支援し、行政がそれを支援していく活動を展開していました。福祉21ビーンズプランは、茅野市が地域福祉を推進していくための「基本計画」であり、「茅野市市民プラン」の保健・医療・福祉分野を担うものとして、その他の分野別計画と整合性を図り策定しています。また、住民参加の視点を重視したより実効性のある計画として、全ての住民が「福祉でまちづくり」を進めるための行動指針にもなっています。

「ケアポートみまき」を拠点に活動している「身体教育医学研究所」は各種研究機関と連携して身体に関わる総合的研究に組み、その結果を情報発信するとともに、地元地域の実践指導



することを目的としています。特に健脚度測定や転倒骨折予防教室の実践は、東御市が行う介護予防事業の一環として市民に定着していました。また、市内の全保育園の園児を対象に「運動あそび」を展開し、子どもの健やかな発達の支援に力を入れており、その他、働き盛りのメタボ対策としての健康支援、関節痛予防等にも取り組んでいました。

建設経済常任委員会視察研修報告

- 日時 平成23年10月17日～19日
- 場所 静岡県三島市、群馬県中之条町
- 目的 地域の活性化に取り組む組織とその活動実態の調査・研究

今回、委員会で訪れたのは、第一回地域再生大賞で「大賞」に輝いた、NPO法人グラウンドワーク三島の活躍する静岡県三島市、そして、関東・甲信越ブロック賞に輝いた伊参（いさま）スタジオ映画祭実行委員会の活動する群馬県中之条町であります。まず、グラウンドワーク三島の活動は、地域の環境改善（どぶ川と成り果てていた富士山からの湧水河川をよみがえらせる）の取り組みに、市民・行政・企業のパートナーシップを導入する「グラウンドワーク」の手法を活用し、市内でバラバラに活動していたボランティアグループ等を束ね、今では15名の専属スタッフを中心に年間4千人を超える参加者により、さまざまな官民協働の活動に取り組み、全国から注目を集めています。次に、わがまんのう町とよく似



た山あいの町、中之条町では、廃校を利用した伊参映画祭を毎年開催し、中之条町を舞台にした映画の上映やシナリオ大賞を企画するなど、多彩な催しにより、今では町内での映画やテレビのロケが増え、住民が出演したり裏方として協力するなど、地域を巻き込んだ参加型の映画文化が根付いています。

総務常任委員会視察研修報告

- 日時 平成23年11月9日～11日
- 場所 熊本県水俣市、玉名市、鹿児島県日置市
- 目的 自治体における地域振興について

水俣市では「村丸ごと生活博物館」として、都市部からグリーンツーリズムに訪れる観光客の誘致を推し進めていました。我々が訪れたときも大型バスに乗って隣県より観光客が訪れていました。地域の方による、手作りの昼食をいただき、職員と地域の方に説明をいただきました。こちらから、事業の推移や行政としての支援はいかに行っているのかを質問しました。日置市では、市と地域公民館、自治会を体系的に示した日置市地域振興計画についての説明をいただきました。こちらから、地域振興計画を制定した経緯、その後の推移と取り組みについて意見を交わしました。

玉名市では、九州新幹線開通にあわせた定住促進事業の取り組みとして新幹線通勤定期の補助、住宅購入補助などについて担当より説明をいただきました。

研修の目的として共通するのは、いかに地域振興に自治体が関係していくかと言う事です。この地域

振興という課題は、現在のどの地方自治体においても大きな問題点であり、各地域で様々な取り組みが行われています。これと言った正解が無いだけにとても難しい課題ではありますが、様々な場所を研修してわかる事は、地域住民の力というものがいかに大切かという事です。

行政は自分たちの地域を良くしようとする思いを資金的、技術的な部分で補っていく事のスキルを磨き、いかに自分たちの地域を自分たちが守るという環境を作っていくかが、地域振興の鍵ではないかとおもいます。



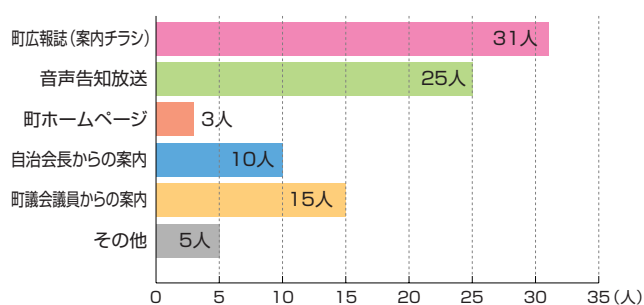
平成23年度 議会報告会 でのアンケート結果

昨年11月6日、町民のみなさまに身近な議会、そして開かれた議会をめざして初めての議会報告会を開催致しました。内容につきましては、前号にて要旨を記載いたしましたが、その時にお寄せいただきましたアンケート結果を報告致します。

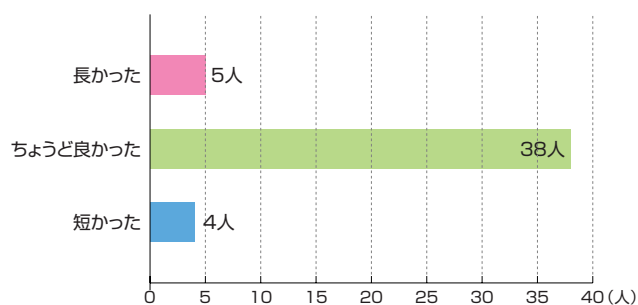


議会報告会について

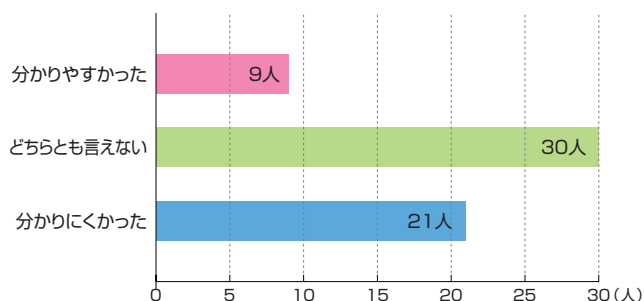
1 議会報告会への参加のきっかけ



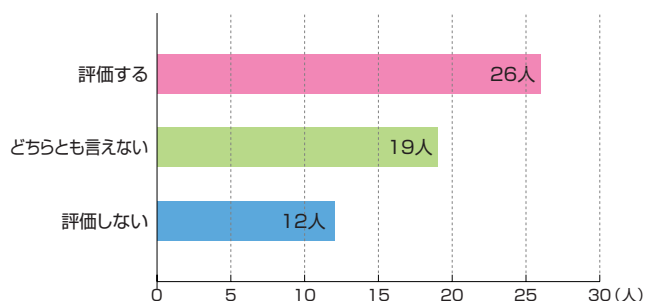
3 時間について



2 報告会の内容について



4 評価について



- 性 別 男:49人 女:12人
 ■年 齢 20才未満:0人 20代:1人 30代:1人 40代:4人 50代:13人
 60代:22人 70代:18人 80才以上:1人
 ■お住まい 町内:54人 町外:4人(全員 琴平町) ※ (回答者63名 複数回答あり)

今回の議会報告会について、あるいは町議会に対してのご意見(主なもの)

- 資料、説明が不十分である(12件)
- 報告会は前進である、今後も続けてほしい(7件)
- (意見交換時の)質問内容は制限しない方がよい(5件)
- もっと人集めをすべきである(5件)

…他、さまざまなご意見(全52件)が寄せられました。まんのう町議会として、今回の報告会での住民のみなさまからの声を真摯に受け止め、情報提供そして情報共有の場として今後も定期的に議会報告会を開催してまいります。

※次回開催予定
平成24年 春頃

平成25年4月 完成予定 新満濃中学校および町民体育館・図書館 完成予想図

本年2月から造成等の工事が始まります。
住民の皆さんにはご迷惑をおかけいたしますが、ご協力のほどよろしくお願いします。

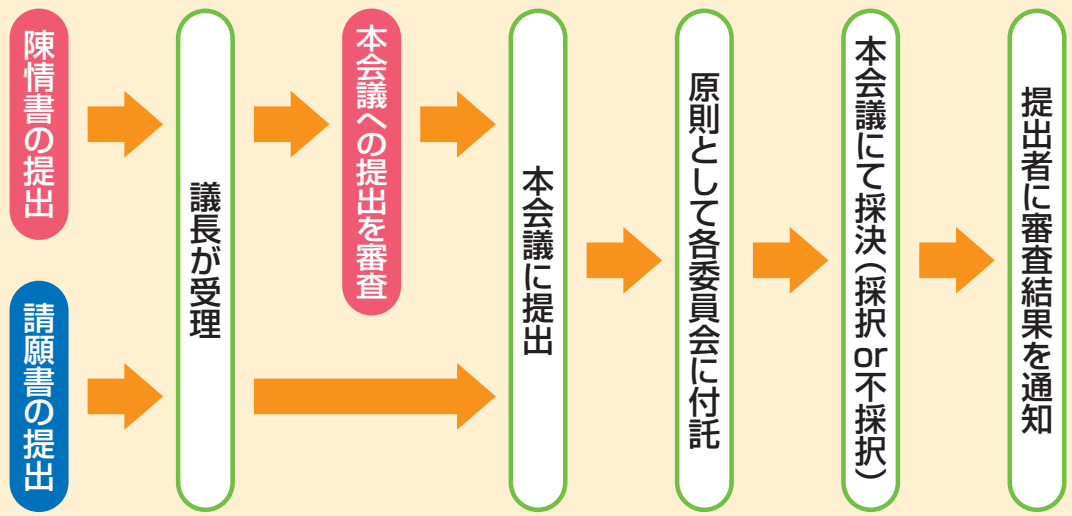


陳情と請願（町民の声を議会に!!）

地方自治法では、住民の声を町政に反映させるために陳情と請願を提出できる様になっています。
議会において採用された町政に関する請願を、執行部は誠実に処理する必要があり、議会は執行部に経過及び結果を請求する事ができます。
そんな、皆さんの声を町政に反映する陳情と請願について、手続きとその流れを説明します。

陳情と請願の違い

- 陳 情**
 - 議員の紹介を必要としない。
 - 議長に提出後、議長もしくは議会運営委員会での協議により、議会に提出されない場合がある。
- 請 願**
 - 議員の紹介を必要とする。
 - 議長に提出後、自動的に本会議に提出される。



昭和36年に女性の健康のために始まった家庭婦人バレーボール大会が全町民に拡大し、昭和38年に町民バレーボール大会となり、わずかに10チームの参加から、現在約100チームほどに増えている。過去最高の参加チーム数は、平成元年第28回の187チームである。8月の炎天下、仲南小学校運動場・体育館で選手、役員、応援者が一丸となり優勝をめざし、自治会対抗で行っている。楽しみの反省会では地区住民の絆が一層強まります。



今号の表紙

- 議会広報特別委員会**
- | | |
|--------|-------|
| 〈委員長〉 | 関 洋三 |
| 〈副委員長〉 | 田岡 秀俊 |
| 〈委員〉 | 高木 堅 |
| 〈委員〉 | 三好 勝利 |
| 〈委員〉 | 藤田 昌大 |
| 〈委員〉 | 本屋敷 崇 |

あとがき
編集委員長 関 洋三
4階が議論の場であっても編集というものが、最初は初めてのことであり、戸惑いの中にも協力する姿勢が今まで以上に芽生えてきたような気がします。議会の資質を向上する役目を担う誇りを感じながら編集委員一同より一層取り組んでまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。